

新規検査受託のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、新たに社内測定を開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内申し上げます。

敬白

記

■実施日 平成 28年 2月 8日(月)ご依頼分より

■検査要綱

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	判断料 実施料	採取量(mL) 必要量(mL)	採取容器 提出容器	保存	検査方法	基準値	所要 日数
未掲載	4988 5A100	特異的IgE Gly m4 (大豆由来)	免疫 110	血液 2 血清 0.5	01 21	冷	FEIA	0.34U _A /mL以下	2~4
未掲載	4989 5A100	特異的IgE Hev b6.02 (ラテックス由来)							

【Gly m 4 [グリエムフォー] (大豆由来)とは・・・】

従来の特異的IgE「大豆」では成人に多い大豆アレルギー(豆乳など)で陰性となることがありました。成人に多い大豆アレルギーは、大豆成分のひとつである「Gly m 4」によるものが多いとされ、**豆乳**などの加工の程度が低い大豆製品で発症しやすいとされています。特異的IgE「Gly m 4」を測定することで、従来陰性と報告されていた豆乳アレルギーなどの患者様の多くを陽性として判定可能とされています。

【Hev b6.02 [ヘヴビーロクテンゼロニ] (ラテックス由来)とは・・・】

従来の特異的IgE「ラテックス」ではラテックスアレルギーではない方も陽性になってしまう。という課題がありました。「Hev b 6.02」は、天然ゴムラテックスに含有されるアレルゲン蛋白の一つで、医療従事者に代表される、日常的にラテックス製品に接触することでアレルギーを発症するラテックスアレルギーの主要アレルゲンとされています。特異的IgE「ラテックス」と「Hev b 6.02」の両方が陽性となる患者様はラテックスアレルギーの可能性が高いと考えられますので、ラテックスアレルギーが疑われる患者様には、特異的IgE「ラテックス」と「Hev b 6.02」の同時測定が推奨されます。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社お客様窓口までお申し付けください。